

- ◆ 連立政権で欠く事の出来ないのは、1994年6月30に誕生した『自社さ連立政権』です。自民党・社会党・新党さきがけによる連立政権で、首相は社会党の村山富市が就任。  
『自社さ連立政権』誕生までは、自民党と社会党はまさに“水と油”的な関係であり、誰もが両政党が連立を組むなどとは想定もしていませんでした。  
細川内閣終焉後、少数与党の自民党を主導する竹下登により、社会党とさきがけとの連立協議が水面下で進み、自・社・さ3党で連立が組まれました。戦後政治を象徴する「55年体制」にピリオドを打った政権とも言えます。  
自衛隊の合憲性さえ一致しない自民と社会でしたが、「何があっても政権に固辞したい自民党と、政権についてみたい社会党の野合連合」とも揶揄されました。
- ◆ 1996年1月11日、村山富市首相の辞任を受け、同日、自・社・さ連立による第1次『橋本連立内閣』が発足します。
- ◆ 1996年10月の『第41回衆議院議員総選挙』で、社会民主党（同年1月に党名変更）・さきがけの両党は総選挙で大きく議席を減らし、壊滅的な打撃を受けました。半面、自民党は息を吹き返し議席を増加、衆院での過半数を回復します。総選挙後に成立した「第2次橋本内閣」では、社民党・さきがけ両党は『閣外協力』に転じます。事実上、『自社さ連立政権』は終焉を迎えます。
- ◆ 1998年7月発足の『小渕内閣』は自民党単独政権。2000年4月『森内閣』、2001年4月『小泉内閣』は『自・公・保守連立内閣』。2006年9月から2009年9月までの『第1次安倍内閣』、『福田康夫内閣』、『麻生内閣』までは『自公連立内閣』です。
- ◆ 2009年8月の『第45回衆議院議員総選挙』は自民党が大敗。選挙後、民主党と社会民主党、国民新党の三党で『民主党連立政権』が発足。9月16日に鳩山由紀夫が首相に就任、鳩山内閣が誕生します。  
翌2010年7月、与党・民主党は菅直人首相のもとで『第22回参議院議員通常選挙』を実施。民主党にとっては政権交代後、初の与党としての大型国政選挙であり、対する自民党は野党としてのぞむ初の大型国政選挙でした。結果は、民主党が参議院で過半数割れし、「衆参ねじれ国会」となり、民主党政権への求心力低下が起きました。  
以降、与党の民主党は野党の自民党、公明党と「社会保障と税の一体改革」の為の「三党合意」を結びなどし、法案成立を図っています。大枠では、これも『パーシャル連合（部分連合）』と言えます。
- ◆ 2012年11月16日に衆議院が解散。12月16日に実施された『第46回衆議院議員総選挙』で与党の民主党が大敗。自民・公明で政権交代が確定。同年12月26日、野田佳彦首相（野田第3次改造内閣）の総辞職に伴い、安倍晋三自民党総裁が首相に任命され、「第2次安倍内閣」が誕生。『自公連立政権』が誕生し、以後、2020年9月まで安倍連立内閣は続きました。
- ◆ 2020年9月16日～2021年10月4日：菅自公連立内閣  
2021年10月4日～2024年10月1日：岸田自公連立内閣  
2024年10月1日～ : 石破自公連立内閣  
今総選挙を受け、少数与党となった『石破自公連立内閣』ですが、今後の政権運営の安定を求め、どの政党と閣内・閣外協力を求めるのか、その枠組みが注目されます。